

医工融合技術研究所

所長 新谷 一博

<http://www.kanazawa-it.ac.jp/wwwr/lab/mse/>

医工融合技術研究所は、工学と医学(薬学)を融合した生体工学領域において、人にやさしいものづくりを目標としています。具体的にはモノづくりの基盤技術である加工技術や生体材料そして計測技術を有機的に結合させ、医療従事者と工学者が同じ課題を共有した形で機器生産者やこれを使用する人にやさしい、生活優先型ものづくりを目指しています。この医工融合技術の構築は今後日本のものづくり産業を先導するものであり、従来から行われてきた利益優先型生産方式から脱却した新しい考え方で、現在の日本が抱える少子高齢化社会をサポート(多様化したユーザーニーズに合わせた製品開発を可能とする)する技術となり得ます。

「当研究所では、医工連携に基づいた人間にやさしい医療機械の創製をおこなっています。」

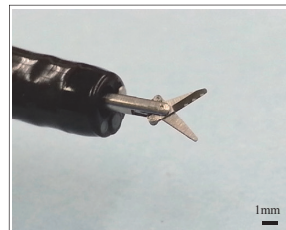


▲医学や生化学の知識・技術のほか、画像処理や切削加工を駆使し、「日本人にジャストフィットする人工股関節」の製作に成功しました。

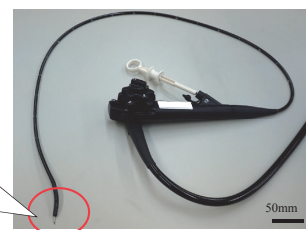
RESEARCH THEME : 研究テーマ

「生体にやさしい医療機器の開発に挑戦」

- ・人にやさしい人工関節の開発
- ・低侵襲手術機器の開発
- ・カスタムメイド手法を応用した手術用トレーニングキットの開発
- ・苦痛を軽減した人体計測機器の開発
- ・骨再生支援に関する骨誘導部材の開発



▲シザース(開発品)



▲経鼻内視鏡挿入後

開発した内視鏡用シザースの例